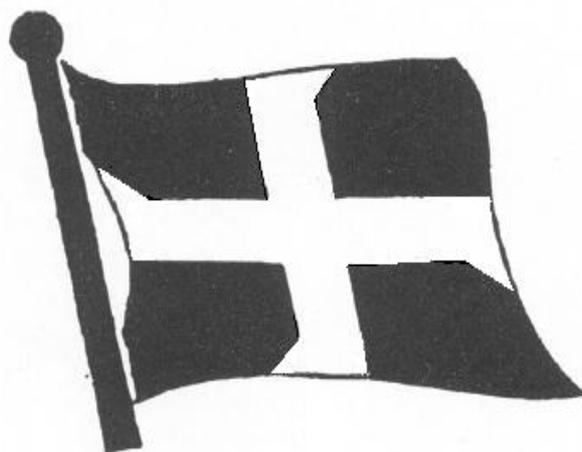


蒼穹NEWS No.3

七大戦展望号

平成 18 年 7 月 23 日発行



～～～ 目 次 ～～～

1. 主 将 ・ 監 督 挨 拶
2. 七 大 戦 競 技 日 程
3. 七 大 戦 展 望
4. 記 録 会 の 結 果 な ど

主将挨拶

7月30日、滋賀県の皇子山競技場で七大戦が行われます。

今年は3連覇という偉業を達成すべく、部員一同日々の練習に励んでおります。先日、一部残留を決めた関西インカレとは異なり、今回はまさに総力戦です。多種目出場の選手の力、そして2,3番手の選手の力が非常に重要になってきます。各大学とも力は拮抗しており、激しい戦いが予想されます。決して楽観視はせず、挑戦者の気持ちで臨みたいと思います。

今年度も部員が増加した女子部のほうも昨年度の総合2位を上回る成績を目指しており、戦力も充実しております。他大学のレベルも上がってきておりますが、好成績を期待してよいと思います。

今年は阪大主幹にも関わらず、滋賀県開催という我々にとっては願ってもない好条件であります。蒼穹会の方々には是非とも皇子山陸上競技場に足を運んでいただいて、選手のほうを応援して下さい、よろしくお願い申し上げます。

京都大学陸上競技部主将 岡本 英也

監督挨拶

この2年間の七大では圧勝しましたが、今年はかなり厳しい勝負にあると思われれます。

ちょっとした失敗が順位を大きく変えてしまうような状況にあるのではないかと思います。しかし、そういったプレッシャーの中、選手達が自分達の力をしっかりと出し切ることが出来れば、優勝できるものと信じております。女子の方も着実に戦力は補強されてきており、優勝への意欲も非常に高く、楽しみな状況であります。

今年は滋賀の皇子山での開催となりますが、OBの方々には是非とも足を運んで頂いて、選手達への応援をお願い申し上げたいと思います。

京都大学陸上競技部監督 脊戸 和寿

七大戦競技日程

《オープンの部》 7月29日(土) 皇子山総合運動公園陸上競技場

《対校の部》 7月30日(日) 皇子山総合運動公園陸上競技場

9:30 開会式

トラックの部			
10:00	男子	3000mSC	(決)
10:20	女子	400m	(予)
10:30	男子	400m	(予)
11:55	男子	110mH	(予)
11:20	女子	100m	(予)
11:30	男子	100m	(予)
11:50	男子	1500m	(決)
12:10	男子	400m	(決)
12:25	男子	110mH	(決)
12:40	女子	100m	(決)
13:50	男子	100m	(決)
13:00	女子	800m	(決)
13:10	男子	800m	(予)
13:30	男子	400mH	(予)
14:00	男子	200m	(予)
14:30	女子	3000m	(決)
14:50	男子	4×100mR	(決)
15:10	男子	400mH	(決)
15:20	女子	400m	(決)
15:30	男子	800m	(決)
15:40	男子	200m	(決)
15:50	男子	5000m	(決)
16:20	女子	4×100mR	(決)
16:30	男子	4×400mR	(決)

フィールドの部			
< 跳躍 >			
10:00	女子	走高跳	(決)
10:00	男子	棒高跳	(決)
11:30	男子	走幅跳	(決)
13:00	女子	走幅跳	(決)
13:00	男子	走高跳	(決)
14:30	男子	三段跳	(決)
< 投擲 >			
10:00	男子	円盤投	(決)
11:30	男子	砲丸投	(決)
13:00	男子	やり投	(決)
14:00	女子	砲丸投	(決)
14:30	男子	ハンマー投	(決)

17:00 閉会式

交通アクセス

京阪石坂線別所駅から徒歩約1分またはJR湖西線西大津駅から徒歩約7分

七大戦展望

(記録はエントリー時のもの)

100m

石田 真大 (4)	10.86
白方 朗史 (4)	11.14
大野 敦史 (3)	11.45

石田は関カレ後、龍谷に向いて名将沢田監督にアドバイスをもらい、300mなどの長い距離は走らずにSDからの短い距離をきっちり走る練習を繰り返す事で実力をつけてきた。エントリータイムの関係で予選から北大の江馬との勝負になるが、おそらく優勝は固いだろう。白方は組にも恵まれて2位確保は楽そうな組なのでとりあえず決勝に進んで取れるだけ点を取って欲しい。ランキング的にも得点圏内にはいるので、田中や尾内あたりに競り勝って欲しいところだ。大野は今シーズン不調が続いていたが先日の学連競技会で大学ベストを出し波に乗っている。11秒2台ぐらいでまとめれば決勝進出は充分可能なのできっちり決勝に残って1点でもいいので点をもぎ取って欲しいところだ。

200m

石田 真大 (4)	21.98
七野 雅史 (3)	23.15
三甲野裕介 (2)	23.65

石田と九大の田中と東北の八木との三つ巴の争いとなりそうな200mだが、先日の京都選手権で予選から決勝まできっちり走りきった経験を生かせればここでの石田の優勝もおそらく固い。後は研究室の拘束がいつ解けるかだけが問題である。七野は怪我の調子が微妙なので出場が微妙ではあるが22秒台をだす実力は持っており、決勝進出は厳しいかもしれないがとりあえずはそのあたりの記録を狙って欲しい。三甲野はこの200mに関しては試合に出るたびにベストを更新している。先日の学連競技会は向かい風のきつい中のレースだったのでもう少し良い条件で走ればベストは普通に出せるだろう。200mは得点ラインがかなり高くなりそうだが2人とも何とか食らいついて欲しい。

400m

高瀬雄一郎 (3)	50.04
藤崎 淳 (3)	50.46
涌井 健策 (4)	51.77

先日の記録会で自己ベストを出し波に乗っている藤崎。その記録会では阪大の2番手3番手にきちんと先着しており、本番では表彰台も見えてくるのではないかなと思われる。優勝候補の牧が400mHと種目をかねている事を考えると、優勝争いにも絡めない事はない。是非持ち前のダイナミックな走りで49秒前半の走りを見せてもらいたい。高瀬はアキレス腱痛の治りが悪く、どれだけ走れるかは分からないが、ポテンシャルは藤崎と同じぐらいのものを持っており、ここはとりあえず決勝進出を目指して欲しい。涌井も決勝進出が微妙なラインにいるが、3人で決勝に進めば何があっても1点は京大に点数が入るのでまずは決勝進出、そして自身の持つ自己ベストを大舞台で更新したりすれば面白い。

800m

岡本 英也 (4)	1.51.46
前川 真彦 (4)	1.55.32
佐藤 翔士 (2)	1.56.79

岡本は自己新をマークした関西インカレ以降、全日本インカレ、日本選手権とも記録、順位とも低調。とは言うものの、昨年度もこの種目を制しているだけにしっかりとまとめてはくるだろう。1500mとの多種目出場にはなるが、昨年も経験していること。今年こそは1500mとの2冠を目指す。前川は自己ベストを出した関西インカレ以降、怪我に苦しんでいる。このような不安要素もあるが、4回目の七大戦で経験は十分、闘い方は百も承知である。最後の七大戦、1回生の時以来のポイント獲得に彼は燃えているだろう。佐藤は伸び盛りの選手。陸上を始めて1年でこの記録である。経験は乏しいが、彼にはがむしゃらさと勢いがある。初の対校戦の舞台で、しっかり入賞争いに絡んで欲しい。その力は十分にある。

1500m

岡本 英也 (4)	3.55.08
平子 達也 (2)	4.12.57
小山 裕之 (1)	4.13.85

岡本はこの種目、関西インカレで7位に入賞。課題であったラストの弱さも徐々に克服しつつあり、勝負強さも身につけてきている。昨年度は2位に甘んじているだけに、今年こそは勝って欲しい。平子は練習も真面目にこなし、着実に力を蓄えてきた選手。6月の記録会で自己ベストをマークし、七大戦の選手の枠を勝ち取った。入賞争いに絡むには大幅な自己ベスト更新が必要となるが、七大戦は記録の狙えるレース。果敢に攻めてほしい。そして、何よりも彼には七大戦という舞台を満喫し、気持ちよく走って欲しい。小山は

期待のルーキーである。4分一桁の自己ベストは持っている、力が戻れば十分に入賞も狙える。1500mは序盤に行われる決勝種目であるだけに、1回生が入賞すれば、大いに盛り上がりチーム全体に勢いが生まれる。積極的に前に行って欲しい。

5000m

山本 直(4)	16.06.75
吉川浩太郎(3)	15.54.60
田淵 亮(2)	15.42.48

山本、吉川、田淵が出場。ここ2年と比べれば比較の出場者のタイムは落ち着きを見せていて、ポイント争いも十分に可能である。山本はこの大舞台で15分台を、いや、さらに上を目指したいと静かに闘志を燃やす。吉川はこの冬から春にかけて最も練習できた選手であろう。いっきに爆発してくれれば、どこまでのタイムを出せるか楽しみ。七大戦は前半スローで後半一気にスピードが上がることも考えられ、いままでその展開に対応しきれない選手はいなかったが、スピード豊かな田淵はそのような展開でも対応してくれるのではと期待できる。

110mH

萩澤 祐樹(3)	14.96
水谷 太郎(4)	14.99
皆川 広太(1)	NR

萩澤、水谷と東大の尾崎との3人の争いになると思われる。東大が総合優勝争いの1番手である事からも考えてここはきっちり2人とも尾崎に先着したい所だ。皆川は専門は高跳びで、今回は無理を言って出場してもらおう形となる。決勝進出ラインは15秒5前後となるので厳しいとは思いますが、出るからにはベストを更新してもらいたい。

400mH

水谷 太郎(4)	51.20
白方 朗史(4)	51.68
岡本 京祐(1)	NR

水谷と白方に関してはもはや何も言う事は無い。二人できっちり11点を確保してくれるだろう。1回生の岡本は練習ではいい記録で走っており、5番手争いには絡めそうな感が有る。なんとか1点でも多く点数を稼いで欲しい。

3000mSC

近藤 学宏(2)	9.26.90
櫻井 研吾(1)	NR

近藤、櫻井が出場。近藤は関西インカレでは不調も、先日の三重県選手権で9分25秒を破り調子を戻してきた。得点が大いに期待できる。レースはおそらく混沌。実力伯仲のメンバーの中、何点とってくれるだろうか。一方ルーキー櫻井は先日の競技会で10分17秒をマーク。もちろん、それ以上のタイムは出してくれると思う。ことしも最初の決勝種目である。3000mSCの京大復活をみせてほしい。

4×100mR

石田 真大(4)
白方 朗史(4)
水谷 太郎(4)
大野 敦史(3)
七野 雅史(3)
三甲野裕介(2)

オーダーは水谷 大野 白方 石田で行く。とりあえず普通にバトンが繋がれば負ける要素は全く無い。四人の平均タイムが11秒01というのは近年まれに見る好メンバーである。多種目出場者が多いため記録はそこまで狙えないかもしれないが、ぜひ去年の東北のタイムは上回ってほしい。

4×400mR

石田 真大(4)
岡本 英也(4)
白方 朗史(4)
水谷 太郎(4)
藤崎 淳(3)
葭中 聡(3)

おそらく藤崎 水谷 白方 石田のオーダーになる予定。今回のような対校戦では逃げ切り策が最も有効な方法で有るので前回と同じく2走、3走で相手突き放して4走で逃げ切る形を取る。前回は水谷が疲労のため途中で足が痙攣するというアクシデントに見まわれたが、今回は400mHと400mの掛け持ちはしていないので、その心配は全く無いと言える。対抗馬はおそらく阪大になるのだろうがその差は大きいのでおそらく圧勝だろう。最終種目できっちり1点を確保してくれるだろう。

走高跳

松久 佳弘 (4)	1m85
三浦 裕介 (2)	1m70
皆川 広太 (1)	NR

松久は今年度初の試合となる。練習時間も不定期なようであるが、彼ならきっと結果を残してくれるだろう。三浦は今年に入り調子が上がってきている。練習もしっかりできているようなので、大ベストを出して得点に絡んでくれることを期待しよう。皆川は今回が大学初の試合となる。怪我のために練習はあまりできてないとのことだが、彼は自己ベスト 1m85 であり、上位に入る実力は十分にある。走高跳は上位 2 名を除けばそれほどの実力差はないと思われる。十分に実力を発揮して 3 人ともが上位を狙って欲しい。

棒高跳

田端 康平 (3)	3m60
三浦 裕介 (2)	3m10
有山 啓史 (2)	NR

田端は今シーズンはまだ記録は残せていないが、忙しい中、密かに練習を積んでいるはずである。この大会では結果を残し、入賞してくれるだろう。三浦は高跳び系の調子を上げており、この種目は特に大幅なベスト更新を期待して良いだろう。田端と共に入賞を狙う。有山は怪我によりこの種目ブランクがありはするものの、昨年の記録では満足するはずもなく今回は当然ベストを狙っていく。この種目は昨年よりも全体のレベルが上がり入賞が難しくなっているが、田端、三浦が競うことでベストを出し、一つでも上を狙って欲しい。

走幅跳

高橋 孝治 (4)	6m79
萩澤 佑樹 (3)	6m71
吉良 佳晃 (3)	6m59

高橋は今シーズンに入り調子が上がってきた。先日教育実習で部活にも顔を出し、練習不足も解消できたと思われる。この試合もベスト、そして最後の七大で表彰台を狙う。萩澤は安定した記録を出しており、得点圏ラインについている。ここでベストを出し、より高い得点を狙ってくれるだろう。吉良はこの種目今季初の出場となるが、忙しいながらも調子は良さそうである。高記録を期待させるコメントをしており得点を狙って欲しいことだろう。この種目上位 3 人が東大勢であり、皆 7m を越えてきている。ここをどう崩せるかが総合の鍵ともなってくる。京大勢の勝負強

さに期待しよう。

三段跳

北島 明文 (4)	14m05
吉良 佳晃 (3)	14m57
萩澤 佑樹 (3)	13m46

北島は関カレで大台の 14m 台を叩き出した。その後も好調を維持し、待ちに待った七大の舞台を迎える。彼はランキングとしても良い位置に付けており、ベストを出せば表彰台も見えてくるだろう。この種目において吉良は実力 No.1 である。今シーズンまだベストは出していないが、今大会でベストを出し、もちろん優勝を狙ってくれるだろう。北島と吉良が表彰台で仲良く(!?) 抱き合う姿を見たい。萩澤は七大戦においてこの種目初出場である。彼はかなり器用でもあり、また三段跳の対抗戦出場経験が少ないだけに一発を期待させてくれる。多種目出場の後ではあるが、彼ならここで大ジャンプを見せ得点に絡んでいってくれるはずだ。

砲丸投

森川 陽介 (4)	12m79
萩澤 佑樹 (3)	11m50
嶋田研志郎 (1)	NR

ランキング二位の森川だが、指を痛めたため出場できるか微妙である。出場した場合は、順位を下げて投擲の士気を下げることがないようにがんばって欲しい。萩澤は記録的に三位争いの位置にいる。幅と時間がかぶっているようで大変だが、集中して記録を残して欲しい。嶋田は忙しくてあまり練習できていないようであるが、高校時代の記録から言って三位争いには参加できるだろう。なんとか体を戻してデビュー戦を大記録で飾ってほしい。

円盤投

森川 陽介 (4)	32m74
北島 明文 (4)	30m89
佐藤 慎祐 (1)	NR

砲丸と同じく出場が微妙な森川。ランキング的には得点を取れる位置にいるので、気合でがんばって欲しい。北島は、今期二年ぶりに自己ベストを出し調子はいいようだ。この調子で記録を伸ばし、1 点でも多く点数をとって欲しい。佐藤はまだ 2kg 円盤に体が慣れていないようだが、高校円盤で 40m 投げているので体が戻れば充分点数には届くだろう。不調な投擲陣の新戦力として嶋田ともども活躍して欲しい。

ハンマー投

田中 聡一 (4)	47m25
吉崎 敬祐 (4)	NR
加納 侑直 (2)	NR

先日事故で鞭打ちになった田中は、療養のためしばらく練習できていなかったが、最近は調子もすっかり戻ったようだ。今回優勝争いは過酷だが、確実に優勝して点を取ってほしいところである。吉崎は練習をあまり積めておらず調子もよくないようであるが、最後の七大会でベストを狙って行って欲しい。ハンマーを始めて間もない加納だが、最近は上達も著しく調子もいいようである。点数ラインにはもう一伸び必要なので、七大会までしっかり練習を積んで行って欲しい。

やり投

萩澤 佑樹 (3)	48m38
有山 啓史 (2)	43m76
佐藤 慎祐 (1)	NR

萩澤はやりにも出場する。多種目出場で大変だろうが、点数を取れるか微妙な位置にいるのががんばって欲しい。関カレは不調であった有山だが、調子は悪くないようなのでベスト目指してがんばって欲しい。佐藤は今月記録会で 44m を投げており、徐々に体が戻ってきたようだ。この調子でさらに記録を伸ばして行って欲しい。

女子100m

早瀬紗也佳 (2)	12.84
富田 夏希 (1)	NR

早瀬は今期ランキング1位である。おそらく名大の安田との争いになると思われるが、現時点では安田の方が1歩リードしている。ただ、まだ走りに粗い面が多いので本番までにある程度修正が効けば優勝の可能性も有る。ぜひアベック優勝に向けて頑張ってもらいたい。富田は期待の1回生で、高校時代には13秒3で走っている。4位入賞ラインが13秒5辺りなので、本番までにうまく復調して何とか1点を取って総合優勝に貢献して欲しい。

女子400m

林 奈央 (3)	66.78
片山裕美子 (2)	NR

今回の女子400mはレベルが高く得点ラインは62~63秒あたりに収まりそうだ。ただし、猛暑の中での

400mとなれば何が起きるかわからないので、林にはまず去年と同様に決勝に進出してもし上位陣に隙ができればそこを突いてもらいたい。片山は専門の800mでは先日の記録会でもベストを出しており、とりあえずは70秒切りあたりが目標になると思われる。この種目で得点が取れば総合優勝に大きく近づけるので是非とも2人で攻めのレースを展開してもらいたい。

女子800m

横田 裕子 (3)	2.36.91
古林 暁子 (1)	NR

横田は今シーズンに入って自己ベストを連発。7月8日の記録会でも2分35秒34とさらに記録を更新。今の彼女の勢いと七大会の盛り上がりで大幅な自己ベストもありうる。積極的な走りを期待したい。古林は2分21の自己記録を持つ期待の新人。まだ、全盛期の力は無いものの、先日の記録会では2分31秒69をマーク。回復の兆しは見せている。初の対校戦、気持ちよく走って欲しい。

女子3000m

中村 有里 (3)	10.57.60
-----------	----------

中村が会場。昨年の七大会では粘り強い走りを見せてくれた。今年は絶好調とはいかないと思うが、自分の走りができればいい結果が出ると思う。持ちタイム9分台のかなり速い選手が他大にいるようで、かなりのハイペースになるかもしれないが、逆にまわりがペースを乱せば十分勝負できると思う。自分の走りを信じてあきらめずに走りきってほしい。

女子4×100mR

森村あかね (4)
河合 春菜 (3)
林 奈央 (3)
早瀬紗也佳 (2)
富田 夏希 (1)
廣瀬亜由美 (1)

先日走り高跳びでも1m50を跳び絶好調の1走河合、今大会1000mランキング1位でもはや不動のエースとなった女帝早瀬、そのエースの座を虎視眈々と狙う1回生ルーキー富田、現女子主将から力づくで4人目の座を奪い取った次期女子主将林。この4人ならば優勝候補の名大の背中も遠くは無い。本番までの富田の復調具合とバトンがどこまでスムーズに通るかが鍵になるだろう。

女子走高跳

森村あかね (4)	1m35
河合 春奈 (3)	1m45

森村はこの種目表彰台を狙える位置に付けている。今期は1m30を跳びますまずのできであろう。3位以下は混戦が予想されるため、ここでベスト付近をきっちり跳んで上位を狙ってくれるだろう。河合は先日ついに1m50の記録を出した。このまま良い波に乗った形で本番を向かえてくれる。他大学で1m45を跳ぶ選手もいるが、そこは実力通り河合が七大三連覇である。

女子走幅跳

森村あかね (4)	4m66
早瀬沙也佳 (2)	5m28

森村は最後の七大ということもあり、気合が入っている。今大会に向けて調子も上げてきている。ここで大きく生涯ベストを狙い、得点に絡む活躍を期待しよう。今期も早瀬は好調である。春先に自己ベストを出しているが、彼女はこの種目においてまだまだ記録を狙っていいと感じている。走幅跳は昼からということもあり、勢いに乗って皆に大ジャンプを見せつけて欲しい。優勝争いは激しくなりそうだが、当然早瀬が優勝を狙っていく。

女子砲丸投

早瀬紗也佳 (2)	8m58
野尻真裕美 (2)	6m38

早瀬はランキング一位との差は大きいですが、三位とも開いているので二位以上は確実に取れるだろう。あわよくば優勝も狙って欲しい。今期に入ってから自己ベストを伸ばし続けて絶好調の野尻だが、まだまだ伸びると思うので7mは少なくとも投げてほしい。

個人戦・記録会などの結果

(2006年11月27日~2006年4月23日)

全日本ジュニア競歩(5/4 石川県)

▼10000mW

廣江 悠 4位 44.11.1 PB③

奈良選手権(5/4-5 鴻ノ池)

▼100m

松井 延行 予 11.00 +2.7

準 11.05 +0.6

中尾 太郎 予 11.80 +2.5

▼200m

花谷 直人 予 23.40 -0.9

準 23.00 +1.3

▼400m

花谷 直人 予 51.61

▼400mH

白方 朗史 予 52.90

白方 朗史 優勝 52.70 PB②

▼3000mSC

近藤 学宏 3位 9.51.15

▼4×100m

松井-杉本-白方-有山 予 42.41

2位 42.27

▼10種競技

萩澤 佑樹 4位 5778 PB⑤

11.81(±0.0)-6.55(+0.2)-11.50-1.65-54.19-15.27(+1.2)-27.56-3.40-46.72-5.22.44

第3回京都陸協記録会(5/7 西京極)

▼100m

七野 雅史 11.38 -0.5

大野 敦史 11.55 -0.7

三甲野裕介 11.63 -0.2

山田 裕 11.77 -0.4

前川 真彦 12.18 ±0.0

▼400m

大野 敦史 52.49

葭中 聡 52.85

前川 真彦 52.99

佐藤 翔士 53.63

山田 裕 54.03

三甲野裕介 54.26 ♪

▼1500m

田淵 亮 4.13.94 PB

佐藤 翔士 4.21.22 ♪

北野 佑樹 4.31.90 PB

▼5000m

宇部 達 15.42.07

吉川浩太郎 15.54.60 CB

下條 亘 16.41.28

滝 悠樹 17.55.79 ♪

▼400mH

水谷 太郎 58.80

桑原 昇 59.05

井上 智志 59.74

▼走高跳

三浦 裕介 1.70 PB

▼三段跳

福山 大典 14.78 +0.6

北島 明文 13.87 +0.9 PB

第2回奈良市記録会(5/7 鴻ノ池)

▼100m

杉本 昌大 I 11.48 +1.4

▼800m

平子 達也 2.03.24

▽100m

河合 春菜 I 13.90 +1.6 PB

II 14.24 ±0.0

▽400m

横田 裕子 70.51

宇治市記録会(5/27 太陽が丘)

▼100m

七野 雅史 11.35 +1.1

▼400m

涌井 健策 51.77

井上 智志 52.92 PB

▼800m

佐藤 翔士 1.59.40 PB

葭中 聡 2.01.49 PB

▼1500m

平子 達也 2.05.53

背戸 和寿 2.08.93

福山 拓郎 4.19.08 CB

野田 崇洋 4.21.01 CB

▼5000m

近藤 学宏 15.51.93

二見 隆亮 16.08.05

山本 直 16.16.98

西田 尊 18.01.95

▽100m

森村あかね 14.69 +0.6 PB

東京選手権(5/28 上柚木)

▼400mH

桑原 昇 予 60.58

第75回日本学生陸上競技対校選手権大会

(6/9-11 日産スタジアム)

▼800m

岡本 英也 予 1.54.39

▼400mH

水谷 太郎 予 51.20

▼3000mSC

佐藤 章徳 予 9.10.32

▼10kmW

廣江 悠 決 43.46

蒼穹新

蒼穹新

二見 隆亮 15.49.06 CB

吉川浩太郎 16.23.45

下條 亘 16.32.16

滝 悠樹 17.10.07 PB

▽100m

林 奈央 15.12 -0.5 ♪

▽400m

林 奈央 67.44

▽3000m

中村 有里 11.39.10

第1回尼崎ナイター記録会(6/10 尼崎)

▼100m

吉川 直樹 12.03 -1.3 ♪

▼200m

葭中 聡 23.45 -0.9 PB

吉川 直樹 24.75 -0.9 ♪

▼800m

葭中 聡 2.04.93

大阪選手権(6/24-25 長居)

▼400m

村地 優樹 予 52.44

▼800m

佐藤 翔士 予 1.56.79 PB

準 2.02.73

前川 真彦 予 1.58.96

準 1.58.15

▼5000m

佐藤 章徳 夕決 15.53.45

▼400mH

白方 朗史 予 54.20

準 57.59

▼3000mSC

佐藤 章徳 3位 9.10.50

▽100m

早瀬紗也佳 予 13.09 ±0.0

▽三段跳

早瀬紗也佳 決 10.40 ±0.0 ♪④

愛知陸上競技選手権大会名古屋支部予選会

(6/10-11 瑞穂)

▼400m

平子 達也 53.78 PB

▼800m

平子 達也 2.01.17 PB

▼1500m

平子 達也 4.12.57 PB

兵庫実業団記録会(6/17 尼崎)

▼100m

水谷 太郎 11.38 -0.9

大野 敦史 11.45 +0.5

中尾 太郎 11.79 -1.1

涌井 健策 11.86 -0.9 CB

葭中 聡 11.98 -1.2

▼200m

水谷 太郎 22.67 -1.5

大野 敦史 23.28 -1.1

村地 優樹 23.64 -1.1

涌井 健策 23.89 -1.1

▼400m

石田 真大 50.19 PB

葭中 聡 51.30 PB

前川 真彦 52.30

井上 智志 52.75 PB

田中 翔吾 55.08

▼1500m

野田 崇洋 4.18.69 PB

▼5000m

相澤 泰隆 15.34.81

田淵 亮 15.42.48

大阪外大・大阪工大 OP(6/25 服部)

▼100m

白方 朗史 11.21 -0.5

片山 拓 11.53 -0.5 ♪

三甲野裕介 11.57 -0.3 CB

北野 智哉 11.66 -0.3 ♪

有山 啓史 11.77 -0.3

金村 進介 11.86 -0.3

山田 裕 11.91 -0.3

中尾 太郎 11.99 -0.3

吉川 直樹 11.99 -0.3 CB

▼400m

中川 敦夫 56.96

▼1500m

小山 裕之 4.13.85 ♪

野田 崇洋 4.15.20 PB

吉川浩太郎 4.18.43

西原 由高 4.22.49 ♪

櫻井 研吾 4.24.30 ♪

日本選手権(6/30-7/2 ユニバー)

▼800m

岡本 英也 予 1.53.48

▼400mH

水谷 太郎 予 51.81

準 52.65

▼5000m

二見 隆亮 16.03.97

田淵 亮 16.26.64

吉川浩太郎 16.35.68

小林 啓人 16.54.06 ♪

山下 輝芳 17.11.40

▼110mH

萩澤 佑樹 15.47 -0.9

▼400mH

水谷 太郎 54.09

井上 智志 57.26 PB

岡本 京祐 59.19 ♪

中川 敦夫 63.54 ♪

▼3000mSC

近藤 学宏 9.28.78

櫻井 研吾 10.17.33 ♪

下條 亘 10.26.54 PB

北野 佑樹 11.10.07 ♪

▼走高跳

背戸 和寿 1.70 ♪

▼走幅跳

萩澤 佑樹 6.50 +1.5

谷口 康晴 6.28 +1.0 PB

▼三段跳

福山 大典 14.88 +0.3

北島 明文 13.79 +1.0

▼円盤投

佐藤 慎祐 28.32 ♪

▼やり投

佐藤 慎祐 44.77 ♪

▽100m

富田 夏希 13.87 +1.5 ♪

河合 春菜 13.92 +2.5

林 奈央 14.63 +0.6 PB

森村 あかね 14.76 +0.6

廣瀬 亜由美 15.31 +0.6 ♪

野尻 真裕美 15.44 +1.4 PB

▽200m

林 奈央 30.20 -1.3 PB

▽800m

古林 暁子 2.31.69 ♪⑨

横田 裕子 2.35.34 PB

片山 裕美子 2.37.47 PB

▽3000m

中村 有里 11.44.03

▽走高跳

河合 春菜 1.50 PB③

早瀬 紗也佳 1.40

▽走幅跳

富田 夏希 4.58 +1.0 ♪

森村 あかね 4.53 +2.1

第2回学連記録会(7/8-9 西京極)

▼100m

石田 真大 10.82 +1.8 PB⑨

松井 延行 10.98 +0.1

白方 朗史 11.04 +1.7 PB

水谷 太郎 11.10 +1.7 PB

大野 敦史 11.11 +1.1 CB

片山 拓 11.17 +2.5

引地 原野 11.23 +1.9 PB

藤崎 淳 11.33 +0.5 PB

三甲野 裕介 11.43 +0.2 CB

瀬々井 巖士 11.53 +1.1

有山 啓史 11.68 +0.2 PB

北垣 卓 11.74 +1.3

吉川 直樹 11.79 +2.0 CB

押野 泰平 11.96 +1.8 ♪

▼200m

石田 真大 22.42 -0.6

白方 朗史 22.58 -0.8

杉本 昌大 22.98 -0.2

三甲野 裕介 23.49 -0.8 PB

金村 進介 24.13 -1.8

▼400m

藤崎 淳 50.03 PB⑩

大野 敦史 50.14 PB

涌井 健策 50.62 CB

葭中 聡 51.52

押野 泰平 52.13 PB

佐川 信太郎 52.85 ♪

上田 道久 55.06 PB

三品 浩基 56.21 ♪

▼800m

平子 達也 2.05.85

小野山 博之 2.06.67 PB

上田 道久 2.06.69 PB

中川 敦夫 2.12.38 ♪

田中 翔吾 2.13.61

▼1500m

小山 裕之 4.10.11 CB

田淵 亮 4.10.79 PB

平子 達也 4.15.57

二見 隆亮 4.16.55 PB

西原 由高 4.22.68

野田 崇洋 4.28.27

小野山 博之 4.35.86

▽砲丸投

野尻 真裕美

6.52

PB

記号の見方

：男子種目 ：女子種目

PB：自己新記録

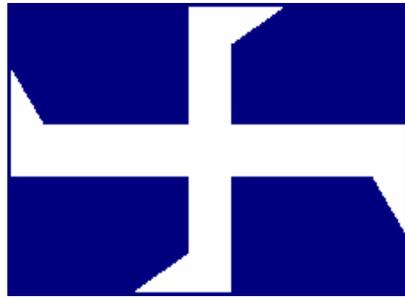
CB：大学における自己新記録

：大学初レース

：1次レース ：2次レース

蒼穹新：蒼穹新記録

数字は蒼穹ランク(20位まで)



蒼穹ニュース 平成18年度 第3号

平成18年7月23日 発行

発行所：京都大学体育会陸上競技部

編集者：田淵亮・平子達也・藤原恭平（副務）

特別協力：田中齊太郎・吉良佳晃・田端康平（学連員）・前田達朗（体育会員）

大野淳史（記録係）・横田裕子（HP係）

陸上競技部 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/index.html>

陸上競技部記録 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/kiroku/index.html>

関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>

メールアドレス tatsuf43@jk2.so-net.ne.jp（平子）